

【静岡新聞 (朝刊)】

研究成果明確化を

健康寿命延伸へ有識者委

計画審議
基本案
要素

県が2017年度中、第4回会合を静岡市葵区に策定する社会健康医学研究推進基本計画に素案を審議した。計画について協議する有識者の委員会はこのほど、健康寿命延伸の達成



社会健康医学研究推進基本計画の素案を協議する委員
＝静岡市葵区

に向け、研究内容とその成果を明確に県民に情報提供すべきと指摘した。社会健康医学は健康問題の原因を医学・医療と社会環境の関係性から分析し、予防策を重点的に探る学問。

計画素案の基本方針に掲げた「医療ビッグデータ活用」「疫学研究」「ゲノムコホート研究」について、委員側は「事例や絵図を用いて分かりやすく説明を」と提案。さらに、「研究成果の還元が県民の関心事」として、成果の具体的な道筋を短期と中期に分けて示すよう求めた。

医療・健診・介護データ集約、地域課題可視化

県民健康「茶っ」と伸ばす

県民の生活習慣病予防に寄与したとして、県内の在宅保健師グループが今秋、厚生労働省の2017年度「健康寿命をのばそう」ワードを受けた。活動を支えたのは、県内の医療、健診、介護に関する被保険者データを集約し地域の健康課題を可視化する県国民健康保険団体連合会の「しずおか茶っ」とシステム。保健師らのワード受賞を機に、連合会はより効果的な健康増進施策の展開を促し、医療費適正化に結び付けていく考えだ。

県国保連 市町向けシステム

年、全国に先駆けて運用を始めた。県内35市町のうち約7割が導入し、レセプト（診療報酬明細書）データの分析結果などを反映させた健康計画の実行に役立っている。システムは、医療費や疾病統計の経年変化を追う実態調査や、他市町、県平均とのデータ比較など。いずれも視認性の高い図表資料に加工が可能で、議会や住民への情報提供のツールになる。高血圧の人や喫煙者が多い地域を洗い出したり、過度な医療費発生要因になる重複受診者を抽出したりもできる。県内の在宅保健師でつくる「つつじ会」は茶っ」とシステムで浮き

保健師活用で成果、厚労省表彰



地域ごとの健康課題を可視化する「しずおか茶っ」とシステム」。医療費適正化につながると期待される＝8日、静岡市葵区の県国民健康保険団体連合会

彫りになった地域の健康課題を踏まえ、生活習慣病が重症化する危険性があるのに、医療機関を受診していない

常務理事は「健康にかかわる、弱点を市町ごとに分析し、的を射た施策展開につなげられる。システムの効果的な運用を通して、県民の健康寿命延伸に貢献したい」と語る。（政治部・鈴木文之）

<メモ> しずおか茶っ」とシステムは個人の健康に関する情報を取り扱うため、県国民健康保険団体連合会や市町の責任者が厳重なセキュリティ管理を行う。専用IDやパスワードを入力しないと利用できない仕組みになっている。

【静岡新聞（朝刊）】

社会健康医学 研究を推進

副知事答弁

9月に供用開始した
県立総合病院（静岡市
葵区）の先端医学棟の
役割を尋ねた伴氏に対
し、吉林章仁副知事は
「治療、教育、研究の三
つの機能を充実させ、
高度・先端医療の一層
の強化を図る」と説明
した。同棟内に開設し
た「リサーチサポート
センター」については、
「研究体制を充実させ、

社会健康医学の研究を
推進するとともに、県
内の医療水準の向上や
健康寿命の延伸に役立
てる」と答弁。本県特
有の疾病の分析や健康
にかかる原因遺伝子の
解明などに取り組み、
研究成果を県民に還元
していくとした。

先端医学棟の整備は
先端医療や臨床研究を
究めたい医師にとつて
魅力的な環境となると
強調し、「全国の優秀
な若手医師の招へいにも
貢献すると考えている」と述べた。

【静岡新聞（朝刊）】

平均寿命 15年本県 男性17位 女性24位

平均寿命が最も長い

都道府県は男性が滋賀の81・78歳、女性は長野の87・675歳であることが13日、厚生労働省が発表した「2015年都道府県別生命表」で分かった。出生や死亡の統計データを基に5年ごとに作成され今回が11回目。前回2位の滋賀は初のトップで、長野は2回連続。最下位は男女とも青森

（男性78・67歳、女性85・93歳）。静岡は男性が80・95歳で17位、女性は87・10歳で24位だった。前回の10年に比べ男女とも全都道府県で平均寿命が延びた。厚生省の担当者は都道府県ごとの差異について「食生活など生活習慣の違いが反映している。滋賀は喫煙率が低く、食塩摂取量が少ないことも要因として考えられる」と説明している。

男性の2位は、前回まで5回連続で1位だった長野（81・75歳）。3位以下は京都（81・40歳）、奈良（81・36歳）、神奈川（81・32歳）の順だった。女性の2位は岡山（87・673歳）で、長野とは0・002歳差。3位以下は島根（87・64歳）、滋賀（87・57歳）、福井（87・54歳）となった。

都道府県別平均寿命

		男性		女性	
上位	1	滋賀	81.78	長野	87.67
	2	長野	81.75	岡山	87.67
	3	京都	81.40	島根	87.64
	4	奈良	81.36	滋賀	87.57
	5	神奈川	81.32	福井	87.54
静岡		17	80.95	24	87.10
下位	43	鹿児島	80.02	福島	86.40
	44	和歌山	79.94	秋田	86.38
	45	岩手	79.86	茨城	86.33
	46	秋田	79.51	栃木	86.24
	47	青森	78.67	青森	85.93

（単位は歳）